

目次

- はじめに P.01
- 防災マップの使い方 P.02 ~ P.04
- 風水害編
- 警戒レベルと避難行動 P.05 ~ P.08
- 風水害について知る P.09
- 土砂災害について知る P.10
- 地震編
- 地震に備える P.11 ~ P.12
- 地震について知る P.13
- 地震ハザードマップ P.14
- 避難所等一覧 P.15 ~ P.16
- 洪水・土砂災害ハザードマップ P.17 ~ P.50
- マイ・タイムライン記入シート 裏表紙

topic

- 地形の成り立ちを見てみよう P.02
- 逃げ遅れたと思ったら P.03
- 走行中に自動車が水没したらどうなる？ P.08

はじめに

近年、東日本大震災や熊本地震などの地震、西日本豪雨、九州北部豪雨を始めとする集中豪雨などの自然災害が、全国各地で発生し大きな被害をもたらしています。

一方、砥部町は「災害が少ないところ」と言われていますが、平成29年の台風18号では、重信川の出水水位観測所で戦後最高の水位が観測される大雨となり、町全域に避難勧告が発令がされ、住家の浸水や崩土・路肩崩壊などの被害が多数発生しました。

また、今後40年以内に南海トラフ地震の発生する確率は90%程度と言われており、災害はいつどこで起こっても不思議ではない状況です。

**自然災害の発生を防ぐことはできませんが、
日頃からの備えで被害を少なくすることはできます。**

本冊子では、災害について住民の皆さんに知っておいていただきたいこと、日頃から気を付けていただきたいことをまとめています。

災害への備えに関する知識や、お住まいの地域を防災マップで確認していただき、来るべき災害に備えましょう。

✓ 防災マップの使い方

次のステップでチェックすることで、具体的な防災行動を確認することができます。



step1 知る

防災マップを見て、 ご自宅の災害リスクをチェック！

P.17から始まる防災マップを見て、ご自宅が何色のリスクかチェック☑を入れてみましょう。

災害の種類		浸水想定区域					家屋倒壊等氾濫想定区域	
洪水	重信川 想定最大規模	~0.5m	0.5~3.0m	3.0~5.0m	5.0~10.0m	10.0m~	氾濫流	河岸浸食
		☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
土砂	土砂災害（特別） 警戒区域	区域外						
		☐	区域内					☐

topic▶ 地形の成り立ちを見てみよう

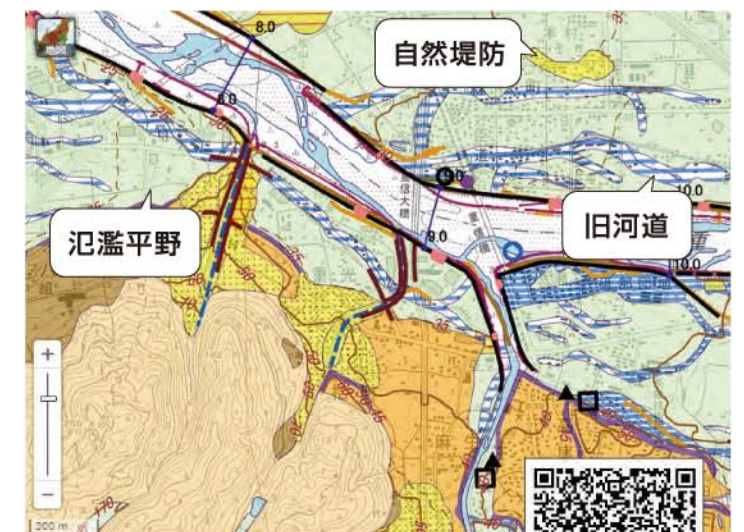
治水地形分類図は、国が管理する河川の流域のうち、主に平野部を対象として扇状地や自然堤防など詳細な地形分類が盛り込まれた地図で、重信川周辺の地形の成り立ちを見ることができます。

◆旧河道やその周辺

旧河道やその周辺では洪水流が集中したり、浸水深が深くなる可能性があります。

◆自然堤防

～洪水が作り出した人々の居住地～
自然堤防は、周りの氾濫平野に比べて高い場所なので、洪水が起きたときは比較的安全といわれていますが、大規模な洪水が起きると、たとえ自然堤防の上であっても被害を受ける可能性があります。



治水地形分類図は国土地理院のホームページ『地理院地図』で閲覧できます。

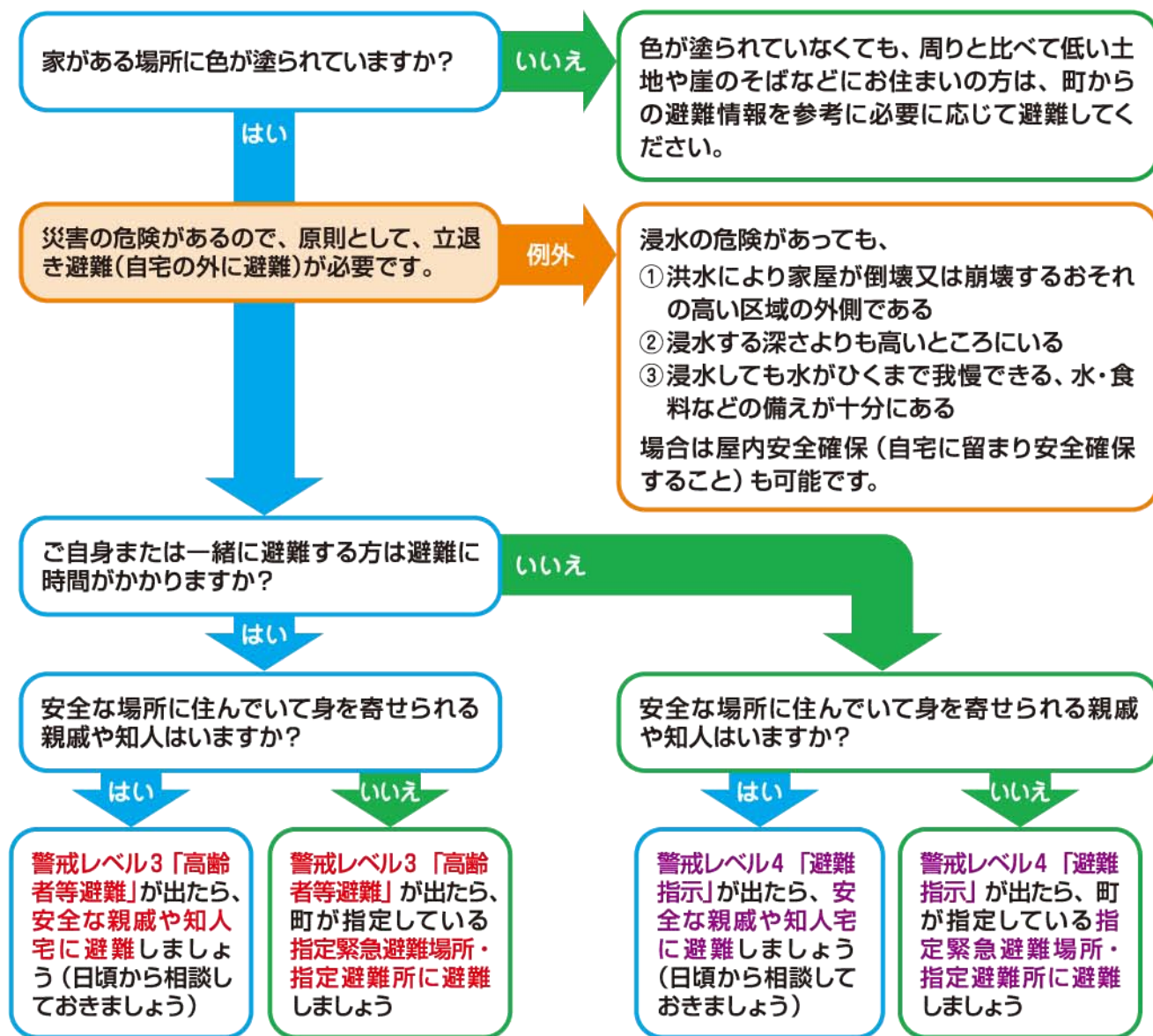


step2
確認

フローチャートを使って 災害時の防災行動を確認しましょう

下のフローチャートや、防災マップの情報ページなどを参考にして災害時の防災行動を確認しましょう。

地震の時の防災行動はP.11へ！



topic▶ 逃げ遅れたと思ったら

急激な天候の変化など、早い段階で避難できず、最寄りの避難場所や警戒区域外へ避難するのが危険と感じた場合には、その場その時の状況で最も安全と思われる場所で身を守りましょう。

◎指定緊急避難所に限らず、
最寄りの高く頑丈な建物



◎自宅の2階以上で
斜面から離れた部屋



step3
考える

マイ・タイムラインに具体的な行動を書き込みましょう

安全に避難するためにどのような順序で防災行動を行うべきかを避難指示等の行政が発信する情報のタイミングに合わせて考えてみましょう。考えがまとまったら裏表紙の「マイ・タイムライン記入シート」に書き込みましょう。

砥部町 ○○地区○○家 マイ・タイムライン 作成年月日 年 月 日

時間	警戒情報	記入例	POINT
2~3日前	黒：気象・防災情報 青：国・県 緑：砥部町	○台風予報 台風に関する愛媛県気象情報(随時) 警戒レベル1	POINT 1 災害の発生時点を「ゼロ・アワー」と定めます。「ゼロ・アワー」から時間を遡り、個々の防災行動を実施するタイミングと防災行動に必要な時間を整理していきます。
1日前	大雨注意報・洪水注意報 警戒レベル2	○台風に関する今後の見通し △大雨警報・洪水警報 上流域での大雨特別警報	POINT 2 防災マップを確認し、どのタイミングでどのような情報が得られるのかを整理します。なお、河川水位は、突然上昇することもありますので、継続的に河川水位に注意しましょう。
-16h	水防団待機水位到達	○住んでいるところと上流の雨量を調べ始める ○携帯電話の充電 ○防災マップで避難場所、避難手段を再確認 ○川の水位を調べ始める	POINT 3 事前準備、避難開始までの行動、身の安全の確保という流れで、それぞれの時期に行う内容を検討します。
-9h	氾濫注意水位到達 洪水予報(氾濫注意情報)発表 ○避難所の開設 △暴風警報	○高齢者等避難に時間がかかる人は避難を始める。 その他の人は避難できるよう準備する	POINT 4 防災気象情報をどのように得るのか、あらかじめ取得方法を確認しておきます。
-7h	避難判断水位到達 警戒レベル3相当 ※土砂災害警戒区域内の方は早めに避難！ 洪水予報(氾濫警戒情報)発表 高齢者等避難を発令	○携帯メール等で避難指示を受信 ○安全なところへ避難する	POINT 5 災害後に避難生活がつづくことも想定し、事前の備えをしておきます。
-6h	氾濫危険水位到達 警戒レベル4相当 洪水予報(氾濫危険情報)発表 緊急速報メール(氾濫のおそれがある情報) 避難指示を発令	○命を守る最善の行動をとる	POINT 6 災害情報と照らし合わせ、避難を開始するタイミングを明確にしておきます。
-0h	大雨特別警報 氾濫が発生 警戒レベル5相当 洪水予報(氾濫発生情報)発表 緊急速報メール(氾濫が発生した情報) 緊急安全確保(可能な範囲で発令)		

雨風が強くなる前に行動すべき事項をすませておく時期
水位等の状況を把握して避難に要する時間に応じて避難行動を開始する時期
身の安全を確保すべき時期